



『それゆけ!論理さん 大人のための学習マンガ』  
仲島ひとみ 筑摩書房

本 館

請求記号：J/116/N34

資料ID：701601643

## 法科大学院教授 前田 修志

「法学は説得の学問です」私が授業でしばしば口にするフレーズです。実際のところ、このような理解が正しいかどうかはわかりません。単なる私のイメージです。もっとも、法科大学院の授業で「法的三段論法」というワードが使われるように、法学の世界ではある事象に対してあるべき結論（法的判断）の正当性を説得的に説明することが求められます。その点ではあながち的外れなイメージではないでしょう。

では「説得的に説明する」にはどうすればいいのか。そこで求められるのが「論理」です。本書はこうした「論理」について説明する本、つまり「論理学」の入門書です。「論理学」と聞くと数学的な記号が使われたりなど、難しいイメージがあるのですが、本書は単元の導入部にマンガがあり、簡単な設例を使ってわかりやすく「論理学」の話をしています。

本書では、「論理とは話の筋道のこと」（本書20頁）であり、物事の結論を根拠と結びつけていくやり方である、と説明されています。冒頭で法学の話をしました。が、「話の筋道」を通すというのは別に法学に限った話ではありません。社会の中で他者と対話をするときにも「話の筋道」は重要です。「感覚的には共鳴できない相手でも、前提を共有して論理的に話を進めていけば、お互いに納得できる結論に至ることができるはず」（本書22頁）。対話のツールともなる「論理」について考えるきっかけとして、本書をめくってみてください。